

令和5年度 第1回 公民館運営審議会 議事要旨 (案)

日時：令和5年5月25日(木) 14:00より
会場：香芝市中央公民館 2階 視聴覚室

出席者

委員：能見会長・金春副会長・藤田委員・石田委員・川本委員・堀内委員・森山委員
(欠席) 大道委員・土橋委員・宮村委員
事務局：小西教育長・教育部まなび推進局 津崎局長・生涯学習課 柳原課長・課員3名
指定管理者 香芝みらい創造プロジェクト 青木館長・牧田副館長

日程

- 1 委嘱状交付
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長、副会長選出

<開会>

- 日程1 会議録署名委員指名
日程2 案件1 令和5年度香芝市中央公民館事業計画について
案件2 香芝市公民館運営審議会活動予定等
案件3 その他

<閉会>

議事要旨

() 内は編集注記。

1 委嘱状交付

<教育長より交付。欠席者3名には後日郵送。>

2 教育長あいさつ

○教育長

- ・委員の皆さまには、本市社会教育行政にご協力を賜りお礼申し上げます。
- ・新型コロナウイルス感染症が5月8日、いわゆる5類感染症となった。
- ・市でも指定管理者でも、「人と人が集い、つながる」公民館本来の活動の場を取り戻していけるよう、多種多様な企画をしていく。
- ・公民館が地域における社会教育・生涯学習の基幹施設としての役割の一端を果たせるよう取り組むので、委員の忌憚のないご意見をお願いしたい。

○事務局

- ・委員、事務局紹介

3 会長、副会長選出

<会長に能見委員、副会長に金春委員を選任。>

○会長

- ・自身の団体を立ち上げて来年20周年。モナミホールを毎週使っていたが、(施設の廃止、解体により)他市町村の施設を利用しながら香芝市で活動している。
- ・16年間、委員として公民館がさらに活発な活動の拠点になるよう、「畑をやってみては」、「花火があがるときに3階を開放してみては」等、色々思いついたことを言い続けて頑張ってきたが、会長職として皆さまのご協力を得ながら進めていきたいのでよろしく願います。

○副会長

- ・町時代に(香芝に)きて40数年経ったが、35年余りは大阪にサラリーマンとして勤めていた。ほとんど地元馴染みがなかったが、この10年足らずは体育館やこの公民館等でいろいろと活動させていただいている。まだまだ知らない香芝がたくさんあるが、精一杯頑張っただけなので、よろしく願います。

<開会>

日程1 会議録署名委員指名

<会長より、堀内委員、川本委員を指名。>

日程2 案件1 令和5年度香芝市中央公民館事業計画について

○事務局

- <生涯学習課担当者より、運営方針、予算概要について説明。>(資料:事業計画P1~3)
- <指定管理者より、事業概要等説明。>(資料:事業計画P4~12、中央公民館講座生募集チラシ・中央公民館SNS開設案内チラシ)

○委員

- ・(事業計画P11~12、施設の平等利用について説明があったが)地域の人間からすると、中央公民館は遠い。総合福祉センターや、「冬彩」(市役所近辺の行事)等も遠い。地域の平等性という点も考慮いただければ。

○教育長

- ・「冬彩」に参加したが良いイベントであり、駐車場等難しい問題もあるが、多くの市民のかたに参加いただきたいと感じた。

○会長

- ・奈良県における奈良県庁の位置とか、日本の首都の東京の位置とか、どこからでも発生してくる問題ではある。

○委員

- ・地域の公民館(集会所)で、ヨガや「いきいき100歳体操」、三線等、いろんな活動をしている。小学校ではコミュニティスクールということで、子どもたちと地域住民が畑をやったり、保護者と一緒に花を植えたり、図書ボランティアをやったり。自治会にとっての生涯学習・社会教育の拠点となっているので、そういうところにも目を向けていただければ。

○事務局

- ・ちょうど今、市と指定管理者で、中央公民館で活動している団体が地域の公民館(集会所)に出張するような活動ができないか、と協議している。大規模なイベントは中央公民館で行い、小規模な教室、講座等を地域の公民館(集会所)で、ということ。令和4年度にも本会でご意見をいただいております、来年に向けて検討していければ。

○会長

- ・(事業計画P16、令和4年度利用状況について)学校関係の利用が0件、0人だが、PTAは利用していないのか。

○事務局

- ・PTAは社会教育関係団体として計上している。

○会長

- ・公民館活動は「みんなで集まって歌いましょう」という人が多く、またそれが楽しいことでもある。（グラウンド）ピアノがあるから第3研修室を使いたい人が多い、と以前聞いたが変わらないか。また、騒音にならないよう、という要望は多いのか。コロナ禍の関係もあると思うがいかがか。

○事務局

- ・コロナ期間中は制限の関係上、ピアノ利用はほぼ無かったが、今はコーラス活動が9団体もおられる。それにも増して、今年2月に広報紙（広報かしば）で公民館紹介の記事が掲載された関係で、一般のかたがピアノ、楽器の練習をされるようになり、頻度はかなり上がっている。ピアノは移動が難しく、3階の第3研修室に固定しているが利用は多い。騒音については、とくにお声はない。

○会長

- ・電子ピアノ等、予算計上をご検討いただければ。

○副会長

- ・資料を拝見し、いろんな分野、年代を考慮した素晴らしい講座があり、SNSでの発信も頑張っている。コロナ禍、高齢化の影響か、登録団体数、部員数が減っている。公民館の運営努力のみで対応できる範囲を超えているのでは。登録団体や登録以外の小グループのかたにも、部員を集めたり新たな活動を増やしたり、そういう努力をしてもらいたいと思う。基本計画（第3次香芝市生涯学習推進基本計画）の「市民アンケート」で、「この事業を何で知りましたか」という質問に対し、最初はやはり「広報」、次が「知人・友人」、その次が「インターネット」という回答がみられた。次の質問、「今後はどういう方法で情報を知りたいですか」では、やはり「広報」が一番で、その次は「インターネット・SNS」という要望が挙がっている。こうした状況もあるので、公民館で活動しているメンバーの希望者に「FaceBook」「Instagram」「YouTube」などを活用して、部員を集める新たな取り組みのために、新しい講座としてやっていただけないかなど。文化協会（香芝市文化協会）では、市民協働課の事業「ホームページの作成方法」にて指導を受け、まだ拙いホームページを作ることができた。70代でも教えていただければできる。各グループの部員を増やしたり、2～3人でやっているかたは、団体を組織できるようなPRができたり、というような講座を開いていただければ。公民館全体のレベルアップ、利用者増につながると思うので、すぐには言わないが検討いただければ。

○事務局

- ・良いご意見をいただいた。公民館で去年スマートフォンの使い方講座を実施したが、今後も様々な講座等計画していきたい。

○会長

- ・公民館の講座を取っ掛かりとして登録団体になっていく道筋は大事。ヨガ講座から（受講生が）登録団体になっていく、ということはあるか。

○委員

- ・「がんばらないヨガ講座」（中央公民館の講座）を担当している。6年位前から講座があり、（講座回数が）6回と限られていて、実際に体を動かして呼吸して、終わった後は気持ち自体もすごく変わって来て「7回目・8回目はありますか？」とコロナ禍前から聞かれることが多い。コロナの間、講座の回数が減っていたり、呼吸について感染拡大を懸念されて活動休止になったりしたが、コロナが5類になってからますますそういうお声（継続希望）をいただいている。4月から新たに2つめのサークルを立ち上げた代表も、最初のサークル（登録団体）に上がったときは10人ぐらいだったのが、もう13～14人くらいになった、と。受講生が友人、知り合いを誘い、体験して「やっぱり続けたい」という人が増えている。副会長のご意見にもあったが、次に続ける、サークルを作る方法が分からず、登録団体も10人以上でないと認めてもらえないと。優先的に部屋を借りられるように登録団体に、と思っても、10人集めるのが大変。可能であれば、10人以下でも登録団体として活動の幅を広げてもらうことができるなら、団体が増えて、そのサークルが良いと感じてもらえると、自然と人数も増えて活動的になるのかなと思う。
- ・コロナ禍もあり、現代病かもしれないが、うつ、不眠の方が多く印象。40代のまだ若い方も。「夜、

全然眠れない。どうしたらいいですか？」と相談があったり。ヨガのインストラクターは医療者ではないので、「こうしてください」とは言えないが、「こういう動きをしてみても」、「こういう時に深呼吸したら」とか、「子どもさんを怒るときにひと呼吸おいてみたら」とか。深呼吸をしてもらうと、「コラ！」という声を抑えることができたり、コミュニケーションが家族の中でもうまくとれるかもしれないですよ、とか。私自身もそうだったので、提案をさせてもらう。取っ掛かりとして、このような講座を作ってもらっているのはすごく良いこと。どんどん続かたが増えて、講座を知らなかったかた、抽選に漏れたかたにも、サークル活動として積極的に活動していただければ。広報紙に引きこもりのかたを対象とした相談会等が案内されているのを見たが、公民館や市がいろんな方面から、引きこもりのかたや心の病のかたにも手助けをされている、と知ることができた。私も相談された者として、微力だが何か手助けできればと思う。サークルが増えると活動が増えると思うので、「10人以上」の縛りを緩めてもらうと、立ち上げやすいのかなど。

- ・「公民館職員のかたのアドバイスがすごく良かった」と講座生から聞く。施設予約も具体的に（隣室の使用状況等）教えてもらえて良かった、と。そうした関わり方もどんどん積極的に発信してもらえれば。今後もよろしく願いたい。

○事務局

- ・各講座を修了されて登録団体になった例として「はじめての絵手紙講座」、「パステルアート講座」、「ギター講座」、「大正琴講座」等、市民講座として参加された方が、その後も引き続き「同じ講師の方に市内へ来ていただいてやっていきたい」ということで登録団体を立ち上げたことがある。ヨガもそうだが、高齢化等で年々団体が減っていく中、こういう形で増えていく団体もある。
- ・登録団体要件は、もともと「15人」だったところ「10人」にさせていただいている。先日の登録団体向け説明会では、メンバーの半分未満であれば市外のかたも入っていただける、と説明した。公民館としても少しでも利用を上げていただいて、活動を促進できればと考えているが、他自治体でもあまりに少ない団体要件は持たれていないので、人数要件は「10人」のまま継続で、市外のかたも入っていただいてOKという要件でお願いできれば。

○事務局

- ・講座を受けていただいたかたが、楽しかった、続けていきたい、登録団体として登録したいという流れになっていくのは、市の目指すところでもある。広報・周知していく中で便利なものも活用していければ。委員もおっしゃるとおり、つながりの中で増えていくというのが、基本になろうと。市や指定管理者も役割分担をしながらやっていきたい。

○会長

- ・活性化のためには登録団体が増えないと、と思う。また、特に子どもの自殺が過去最大と聞いており、できるだけ公民館で救ってあげられたらと思うので、よろしく願いたい。
- ・コーラス団体については人数等どうか。

○委員

- ・私が所属しているところでは、コロナ禍の休止、高齢化等により半分になってしまった。20数名が10名に。コロナ禍が終息して、また活動が始められたが、「公民館まつり」とか文化協会の舞台等を聴いて2人増えた。メンバーのほとんどが70代だが、活動が始まればこういう年代になっても入って頑張ろうという想いを持っている人がいるのだな、ということは嬉しく思っている。「発表の場がある」ということが大事。楽しく歌っているよ、ということを観てもらって、また年代の若い人が入って来られるという風に活性化していければ。
- ・先ほど電子ピアノの話があったが、ピアノが使える部屋が1つだけというのは、普段は良いが、集中的にやりたい、発表したいというときに違う部屋でも使えれば。電子ピアノでも良いので、予算がある時にでも購入いただければもっと盛んになると思うので、よろしく願いたい。

案件2 香芝市公民館運営審議会活動予定等

<事務局より、資料：事業計画P13~14、年間活動予定等を説明。質疑なし。>

案件3 その他

■利用料金改正に係る意見伺い（資料：公民館利用料金改正表）

○事務局

- ・本市では平成22年に統一的に公共施設の料金を改定したが、その後の平成26年に消費税増税、令和元年の消費税増税10%、また昨今の各種コスト増に対応できていない状況。さらに今後、大規模修繕、建て替え等の時期を迎えることから、非常にコストがかかってくる。持続可能な公共サービス提供の観点から、令和6年4月1日付で、市内全施設の利用料金の見直しを検討している。
- ・料金設定は、維持管理にかかるコストや部屋の面積により算出することを予定している。
- ・2案検討しており、現行のままの3区分（午前、午後、夜間）で値上げするか、4区分に細分化して（1時間当たりの単価は変わらないが、1枠を短くすることで）値上げ感を和らげるか。公民館で活動をされているかたのご意見をいただければ。

○委員

- ・値上げは必須か。

○事務局

- ・全施設で（市の方針としては）確定している。

○会長

- ・案1、案2どちらが良いか、についてはどうか。要は、（現状どおり3区分で）午前・午後・夜間と分けるか、（4区分で）2時間半ずつにするか。

○委員

- ・団体によって活動時間が変わるのでは。時間が余っているという団体はあるのか。

○事務局

- ・4時間だと余るということではないが、2時間半だと少ないという団体もある、と指定管理者から聞いている。

○委員

- ・キッズヨガでは3～4時間は集中力が続かないこともある。基本90分の教室でもシルバー対象では健康にできるのは60分だったり。
- ・4時間の1枠と、2時間半の2枠5時間では、料金の差が大きく感じる。
- ・「ヨガだったらこれでいいですよ」と言っても、全体の活動として発言することは難しい。

○事務局

- ・利用者アンケートが一番だが、それにしても皆さん全てのご意見に添うのは難しい。どこかで選択肢を設けねばならない。この2案しかないのかなと提示させていただいた。

○副会長

- ・案1の方は12時～13時の1時間休憩となっている。案2は12時～12時半の30分。この休憩は絶対要るのか。体育館（香芝市総合体育館）では2時間区切りのみ。9時～11時、11時～13時、13時～15時…という2時間が1区分で、休憩時間はない。

○事務局

- ・体育館は、準備も併せて時間内で、という考え方で設定している。

○副会長

- ・体育館と同じように中央公民館も2時間区分にすれば、今委員が仰ったように、4時間はしんどいし、2時間半でも（短い）。5時間は長い、という場合でも、2時間枠を2回借りて4時間、または2時間だけでいいという場合は1枠だけ借りる、ということなら、選択肢が扱いやすいのでは。2時間であれば料金が2時間半より安くなるかと。

○事務局

- ・案3として休憩時間なしの案も検討したが、指定管理者との相談で、やはり転換の時間が必要となった。

○副会長

- ・利用者としては、「公民館も体育館も同じシステム」というのが使いやすいと思うが。

○事務局

- ・転換時間をなくした場合は、利用時間終了と共に次の利用者が入ってくるので、利用時間内で片付けもすべて終わらせることになるかと思う。市としても、体育館と同じような運用ではどうか、と案3を提案したが、何が正解かは判断が難しい。

○委員

- ・案2でいけば、使う側からすれば片付けの時間も含めて3時間でやる、と思う人も多いかと。

○委員

- ・案2の、12時半からの枠の講座や活動というのは、基本的に使いにくいのでは。昼食の時間なので。午後の始まりは13時が良いと考える。どの案を通すにしても考慮いただければ。

○委員

- ・現行と案1の料金は大体1.5倍になっているが美術工芸室と和室と茶室は少し安めに設定されている。
- ・休憩時間については、利用規約の中で準備片付けも含めてこの時間までで、次の団体に必ず引き渡しをお願いします、としてしまえば。管理側が何か点検等入るなら別だが。2時間区切りで9時～11時、11時～13時…として、長く使いたい団体は4時間使うという方が使いやすいのかなと。

○会長

- ・会議でも白熱したら3時間は必要。2時間では足りない時もある。最初から2時間でまとめましょうか、という議論が薄くなってしまいう気がする。

○委員

- ・コーラス団体は9時～11時では対応しにくいかと。いろんなグループで指導者が遠くから来られたり、午前中の3時間枠が貴重。椅子並べ、発声、体操等して10時から開始。

○副会長

- ・(ご家族がコーラス団体の活動で)9時半から椅子の整理、発声練習。10時から先生が来て、12時までレッスンしている。お互いに慣れと言えば慣れ。時間内にまとめることもできるのかも。別団体の場合は宝塚からの先生で、少し時間がかかるので現行の時間枠でしか無理かもしれない。

○会長

- ・活動によっても違うかと。自団体も2時間枠では絶対無理。会議は2時間で可能かとも思うが、3時間かかることもある。
- ・ふたかみ文化センターはどうか。

○事務局

- ・中央公民館と同じく、午前、午後、夜間の3区分で休憩1時間。
- ・利用者が使いにくくなった、と感じないようにしたい。

○委員

- ・例えば、4時間を2つに区切れるようにするのはどうか。体育館と一緒に。

○事務局

- ・指定管理者で対応できるのか、というところがある。

○副会長

- ・現状のままで料金だけ上がるというシステムの方が、利用者の理解は得やすいような気がする。

○事務局

- ・公民館が現状安すぎるということがある。値上げ幅が他の施設比で公民館が特に大きいので、緩和措置で約1.5倍上限までとしている。

○委員

- ・使い勝手がいいのは、午後を2時間ごとの2枠にして、13時～15時、15時～17時。14時から使いたい人がいれば…ややこしい。

○会長

- ・12時30分からよりは、やはり13時からかなと思う。

○事務局

- ・現場の声が一番。貴重なご意見をありがとうございます。また改正に向けてご意見をよろしく願いたい。

■これまでの公民館運営審議会の協議内容について（資料：委員（会長）からの提出資料）

○会長

- ・本会でのこれまでの議論のまとめだが、公民館利用者の年齢層、男女別については図のようになっている。公民館を活発にするには、女性、高齢者をターゲットにするのも重要だが、しかし公民館の役割として男性の利用促進に向けて、例えば単発で「税金が安くなる講座」等、継続講座でなくとも考えてもらいたい。夏休みに市民講座とか。
- ・例えばオリックス（・バファローズ）が野球場に親子で呼ぼうということで、母親を「おりひめ」と呼んだり、子どもが来やすくなることを戦略の1つとして取り組んでいる。こういう考え方が大切なと思う。
- ・先ほどの委員のご意見と重なるが、中央公民館から外部の団体、コミュニティ、家庭教育学級やPTAにも広げていきたいし、逆に周りの団体と中央公民館をつなげていきたいというご意見がいつも本会で出るが、長年の課題。解決するには「つなぐ人」が必要。例えば私はPTAをしていて、中央公民館のイベント等を紹介しやすかった。家庭教育学級と自団体に属している友人が、他の家庭教育学級生に紹介する、といったように、公民館に人や団体をつなげられる人が必要なのでは。こういった存在が公民館の活性化につながっていく。人数だけみるのではなく。ぜひ委員には地域と中央公民館をつないでいただきたい。相互に学習意欲を高めてレベルアップしてもらえたら。また、ここにおられる委員の皆さまもそのようにつないでいただいて、公民館を更に利用してもらえれば。

■「夏のかしばアカデミー」イベント概要について（資料：夏のかしばアカデミー時間割表）

○事務局

- ・香芝市民が公募で「1日限定の講師」となり、市民に対して講座を開くことにより、市民同士で学び合う機会を作るイベント。中央公民館と、総合体育館サブフロアで開催予定。
- ・（講師の）募集30枠に対し約40件ものご応募をいただき、注目度、学習機会のニーズの高さが伺える。
- ・世代、内容もバラエティに富むユニークな講座が集まった。
- ・イベントを通して、市民の生涯学習を支援するという大目標と共に、今まで公民館を利用したことのない年齢層のかたにも公民館を知っていただく機会や、利用拡大につながる機会の創出を目指して取り組む。

○会長

- ・素晴らしいイベント。
- ・公民館の活性化に向けて、他にもご意見があれば。

○事務局

- ・自分も働く世代で子育て中の身として、利用が少ない層だがそうした対象に向けたイベントの企画と、その情報が届くように、冒頭に説明のあったSNS等を活用した発信の双方向に力を入れていければ。
- ・昨年度、「市民がつくる生涯学習講座」（「夏のかしばアカデミー」の前身事業）を担当して、市民の中にはいろんなことを学びたいという意欲を持っておられるかたと、好きなこと・得意なことを誰かに教えたいというかたもいらっしやると実感した。市民同士で学び合う機会について、充実を図っていききたい。
- ・公民館活動は市民をどう巻き込むかがテーマ。行事をする中で、発信力が高まれば市民はしっかりと目を向けてくれると実感している。SNSの話も出たが、まさにこのアカデミーもSNS（市の公式LINE）で発信したところ、一気に講師の申し込みが増えた。高齢の講師も多く、LINEを見た子どもから親が「やってみたら」と後押しされて講師申込をした、ということもあった。SNS発信は高齢のかたはなかなか見ないというが、その子ども世代が見ている。我々はそれを汲み取り、踏み込ん

で、しっかりと発信していけばきっとこの講座も皆さんの目に留まってたくさんの人に来ていただけると非常に期待している。どうか委員の皆さまも我々が今年やる事業についていろいろ発信させてもらうので、情報発信にご協力いただければありがたい。今年度も 1 年間よろしく願います。

○会長

- ・学校教育が 10 年で、生涯学習は 80 年。頑張っていきましょう。
- ・皆さま、本日はありがとうございました。

<閉会>

確認事項

- ・発言をもう少し削るべきか？
- ・逆に、会長の進行部分を削りすぎ？
- ・会長の団体名を入れる？ 発言では「天衝太鼓」と仰っているが、ここでは一旦「自団体」と記載。
- ・「会長」「副会長」表記は実質、個人名とイコールだが、「委員」とするか否か？ ネットで他市町村のを見ると大体は会長・副会長と表記している。
- ・市と指定管理者の発言を「事務局」としているが、区別した方が良いか？
- ・事務局説明を全部省略し、料金説明のところも大幅に省いたが、詳しく記載した方が良いか？